



Volunteer network



主任神父様

信徒会長様

教区ボランティア・ネットワークの皆様

『信徒向けの 手話教室』 高田教会

力障連新潟大会の成果。「教会」に焦点をあてリニューアル

新潟教区にそよ風。共に歩んでいくために

信徒の皆さんを初め、積極的に準備を進めて下さったスタッフや、また、バックアップして下さった日本カトリック障害者連絡協議会の皆さんのお陰で、素晴らしい大会を開くことができたと感じました。特に本部と新潟の係やボランティアの皆さんとの連携が良く、大会の雰囲気盛り上がり、楽しい2日間でした。

日本海側で初めて行われたこの大会は、障がい者の問題をより身近に思い、共に歩んでいくためのすばらしい風を、新潟教区全体に吹かせたような感じがします。神に感謝！

情報が少なく、迷いつつ参加

小生は、以前は「カトリック聴覚障がい者の会」に入っていました。その後、「力障連」に吸収され、一本化されてからは情報もなく、全国大会には参加していませんでした。

しかし、今回は地元、新潟県で開かれる、と聞いたのです。が、参加を・・・迷いました。理由は、この大会に全国から同じ（耳の聞こえない）信徒が集まるかどうか？等々、不安でした。幸いに同じ仲間も10人程が参加し、他の障がいを持つ方々の輝かしい姿を見て、素晴らしい大会が開かれたと思いました。

◆ アンケートのお願い ◆◆

点訳、音訳を必要な方、また、点訳、音訳、手話、要約筆記、パソコン通訳などの奉仕を小教区や地域でしている方、これから学んでみたい方、のアンケートを行います。

小教区宛にアンケート用紙をお送りしますので、ご回答ください。よろしくお願いいたします。

新潟教区ボランティア・ネットワーク

教区本部事務局 事務局長 大瀧浩一 窓口 佐久間香子

各自に適した形で。布教の課題？

私自身は耳が聞こえないので、全体としては同じ仲間が少なかった事と、分科会は、主に、視覚障がい者向けの内容で終わってしまったのが残念でした。（進行役が視覚障がい者だったせいかもしれません。）

各障がい別にして、各自の課題や問題点などを話し合い、カトリック布教を広める為の研修として各部門に適した運動をしていく、という形の方が良かったのでは・・・と思いました。また、一般信徒と障がいを持つ信徒との関係は平等であるか？軽蔑視されていないか等々、問題解決に向けた話し合いの分科会であって欲しかったです。

ミサに、教理に。手話通訳の育成を

今大会を通しての私にとっての課題は、① まず、手話に興味をもって貰うこと、② カトリックの教理をキチンと教える為、カトリック教会専用通訳の育成が必要では？ の2点でした。

小教区で話し合った結果、「カトリック教会信徒向け手話教室」が、昨年9月4日（金）から始まりました。初回で10人以上集まり、現在も続いています。関心を示してくれる方が増えることを願いながら、今後も絶やすことなく続けるよう努力します。（高田教会 二本柳 功）

